



ベトナム Weekly レポート

お問い合わせ フリーダイヤル: 0120-411-965

ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

南シナ海での中国との緊張の高まりを受けて、急落したベトナム株式市場 —国内投資家はろうばい売り、海外投資家は買い越し—

昨日、ホーチミン証券取引所のベンチマーク指数であるVNインデックスは、前日比32.88ポイント安の527.09ポイントで引けています。2001年以来、最大の下落率となる5.87%の下げを記録しました。

この急落を引き起こした主因は、南シナ海の西沙（パラセル）諸島で、中国とベトナムの船舶が衝突したことによる緊張の高まりです。

今回は、この領有権争いのにらみ合いが、ベトナム株式市場に与える影響について考えてみます。

事態が深刻化する可能性は低い

これまでにベトナムと中国は、南シナ海の南沙（スプラトリー）諸島と西沙（パラセル）諸島の領有権を巡り、2度、武力衝突しています。1974年は、スプラトリーで、1988年はパラセルで武力衝突し、中国が勝利を収めています。今回もベトナム側が不利な状況に置かれていることに変わりはなく、短期的な小競り合いは続いても、ベトナムが軍事オプションを行使して、紛争を長期化させる可能性は低いと考えています。

ベトナム経済のファンダメンタルズは良好

昨日、ベトナム国家証券委員会（SSC）は、ベトナム株式市場に投資しているすべての投資家に対して、ベトナムのマクロ経済の状況は良好であり、株式市場のパニック売りに対して、冷静を保つよう要請する声明を発表しましたが、ベトナムのインフレ率は安定しており、貿易収支は均衡しており、外貨準備高も着実に増加しています。また、国内経済成長率やベトナム企業の業績も緩やかな改善が続いています。

通貨ドンも不安定にならないと考えています。中国は最大の貿易赤字国であり、中国からの輸入額は、輸出額の3倍以上に達しています。両国関係が悪化しても、ドンに対する影響は軽微と考えています。

2014年5月8日 ホーチミン証券取引所の出来高および売買高動向

出来高(株)	外国人出来高	市場取引			市場外取引		
		全体	外国人	外国人比率	全体	外国人	外国人比率
(買い)	14,162,580	128,293,230	12,060,150	9.40%	18,199,158	2,102,430	11.55%
(売り)	6,289,140	-	4,214,340	3.28%	-	2,074,800	11.40%
(買い)-(売り)	7,873,440	-	7,845,810	-	-	27,630	-

売買高(千ドン)	外国人売買代金	市場取引			市場外取引		
		全体	外国人	外国人比率	全体	外国人	外国人比率
(買い)	481,751,366	2,427,627,892	401,160,748	16.52%	434,522,250	80,590,618	18.55%
(売り)	238,305,140	-	158,385,931	6.52%	-	79,919,209	18.39%
(買い)-(売り)	243,446,226	-	242,774,817	-	-	671,409	-

(データは、ホーチミン証券取引所)

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



ベトナム Weekly レポート

お問い合わせ フリーダイヤル: 0120-411-965
ホームページアドレス: <http://www.news-sec.co.jp>

国内投資家のろうばい売りに対して、海外投資家は買い越し

前ページの表は、昨日のホーチミン証券取引所の出来高および売買高の状況を示しています。外国人投資家は、1416万株の買いに対して、売りは629万株、787万株の買い越しとなっています。売買高でも、4818億ドンの買いに対して、売りは2383億ドン、買い越し額は2434億ドンに達しています。

今回の事態に対する海外投資資金の株式市場からの流出は起きていないわけです。

ペトロベトナム・ガス(GAS)の出来高・売買高の状況 (2014年5月5日~5月8日)

日付	終値	前日比	市場取引		市場外取引		外国人取引			
			出来高	売買高	出来高	売買高	出来高		売買高	
							買い	売り	買い	売り
5月8日	92,000	-6,500	1,672,090	156,061,080	0	0	1,063,850	142,430	99,457	13,265
5月7日	98,500	500	145,760	14,335,535	0	0	61,100	5,000	6,002	493
5月6日	98,000	-1,500	829,520	80,432,920	0	0	471,180	108,060	45,623	10,488
5月5日	99,500	0	504,920	50,454,730	0	0	108,610	62,000	10,876	6,199

(データはホーチミン証券取引所)

個別株での事例をみてみます。上の表は、ホーチミン証券取引所において、最も時価総額の大きい、ペトロベトナム・ガス (GAS) の出来高と売買高の状況を示しています。

昨日、GASの終値は、ストップ安の92,000ドンでした。出来高は約167万株でしたが、外国人投資家は約106万株のGAS株を買い付けています。

外国人保有比率の高いブルーチップの多くが、昨日ストップ安となりましたが、外国人投資家が大きく売り越した銘柄は見受けられません。

ブルーチップ株の押し目買いの好機

今回の中国との衝突による株式市場の急落を受けて、短期的に株式市場が調整局面入りしたとしても、中長期的にみて、今回の急落は、例えば、FPTコーポレーション (FPT)、ビナミルク (VNM)、ペトロベトナム・ガス (GAS)、軍隊商業銀行 (MBB)、ベカメックス IJC (IJC) などブルーチップ株に対して、絶好の押し目買いの好機となる可能性が高いと考えます。

海外株調査室 小畑 直樹

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.10%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。